

ID 氏名	
年齢	
科名	病棟

## COP[day 2]+【BS】Rituximab 療法

\_\_\_\_\_週毎 \_\_\_\_\_コース予定

疾患名 \_\_\_\_\_悪性リンパ腫

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

		day1	2	3	4	5	6
リツキシマブ BS	375 mg/m <sup>2</sup>	↓					
プレドニン(プレドニゾロン)	60 mg/m <sup>2</sup>		↓	↓	↓	↓	↓ day3 からは内服
オンコピン(ピンクリスチン)	1.4 mg/m <sup>2</sup> 【最高 2mg】		↓				
エンドキサン(シクロホスファミド)	750 mg/m <sup>2</sup>		↓				

【注意】 \* リツキシマブ行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 \* 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100mg) \_\_\_\_\_錠 デザレックス(5mg) \_\_\_\_\_錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

\*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注

⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

⑨ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間で点滴静注

⑩ 350 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

**【2回目以降】** 第1サイクルにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

① イブプロフェン(100mg) \_\_\_\_\_錠 デザレックス(5mg) \_\_\_\_\_錠 内服

★30分後より

② 生食 500mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

\*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

## day 2

① グラニセトロン内服ゼリー (2mg) 1包 内服

② ソリタ T3号 200 mL にて血管確保

③ プレドニン + 生食 50 mL 点滴静注 5分(600 mL/時間) もしくは 内服

④ オンコビン + 生食 50 mL 点滴静注 5分(600 mL/時間)

⑤ エンドキサン + 生食 100 mL 点滴静注 60分

◎ 血管確保していたソリタ T3号をエンドキサンと同時滴下 90分で点滴静注

day 3-6 プレドニン 内服

	コース		コース		コース		コース	
	day1	day2	day1	day2	day1	day2	day1	day2
	/	/	/	/	/	/	/	/
リツキシマブ BS 開始時間	↓		↓		↓		↓	
プレドニン 開始時間		↓		↓		↓		↓
オンコビン 開始時間		↓		↓		↓		↓
エンドキサン 開始時間		↓		↓		↓		↓
確認								